

報 会

ち ち ち

静岡市相撲連盟
会 長 川上明廣
事務局 村越浩二

令和元年
380号

静岡相撲部OBちから会

昭和30年 ちから会創立
昭和39年 11月 初刊

会 長 細倉涼太
事務局 大江弘文

計 報

小林美保子(78歳)

小林伸治(第57回卒・相撲部出身・浅間道り

宮口屋ふとん店前代表)の

奥さんが四、五年前から肝硬変を患い、その後肝臓ガンへと進み治療のかいもなく、3月11日県総合病院で逝去されました。

ご冥福をお祈り申し上げます。

☆ 5月12日 静岡市城北相撲場にて平成30年度静岡市相撲連盟及びちから会の総会が午後1時より行われた。事業報告、決算報告、事務連絡が行われ総会終了後、審判員技能向上講習会が行われた。

(役員) 吉永・宮城・岩崎・川上・中村・中山

中村武・村越・河野

5月19日わんぱく相撲静岡市場所が静岡市城北相撲場にて行われた。この大会4年生以上の優勝者は6月23日に行う、わんぱく相撲静岡県大会に出場する。相撲教室の選手出場者は、4年生和泉健流選手、5年生遠藤秀和選手、6年生根上航平選手

(役員) 吉永・岩崎・川上・中村・川根・中村武

村越・河野

この大会に特別講師として静岡商業相撲部OBの山中未久も参加し模範演技を披露してくれた。

☆ 第28回わんぱく相撲静岡県大会が6月23日静岡市城北相撲場で開催した。結果、5年生の遠藤秀和選手、6年生の根上航平選手の二名が8月4日に墨田区総合体育館で行われるわんぱく相撲全国大会に出場が決定しました。

(役員) 吉永・岩崎・川上・中村・細倉・山中

中村武・村松・村越・河野

☆ 令和元年度静岡同窓会定時総会が6月8日(土)ホテルセンチュリーで開催された。総会に先立ち2時から東京、名古屋、大阪の3支部と県内各支部から代表者が出席し、支部長会議を開催、各支部の現状、特に若い年代の参加が減少するなか、今後の対応と、本部への要望などが審議された。このあと、総会へ移り

静 商 漢 声 俳 句 会

五月雨途切れのハーモニカ 岩崎 安次
屋敷林映る代田や風渡る 高橋 璋
で虫や不登校児の閉ざすさま 加賀美 幸
微睡めばはや明け鳥夏の朝 名田 幸一
井戸水の美味たるものよ夏の朝 永田 峰雄
かたつむりむつと出て行く十五才 牧田 秀峰

各委員からの事業報告、決算報告、120周年の記念事業報告、硬式野球部後援会報告があり、承認される。退任役員、功労者の7名に感謝状、30年度年会費納入目標達成期の代表11名に表彰状が贈られた。終了後、4Fクリスタルルームにバルセロナ・オリンピック金メダリスト岩崎恭子さんを迎え「泳縁(えいえん)」と題し、木原光知子さんの残した言葉と、水泳を通して得た人との出会いの大切さについて語ってくれた。テレビ出演もあり話は軽快で笑いと感動の講演となり大好評であった。この後、会場を5階へ移動し懇親会となる。今年の当番期担当が前回の120周年の参加者に負けないようにと頑張り今回も満席となる。恩師、先輩、後輩、久し振りの再会で各テーブルに笑いと、拍手、カンパいの声の輪が広がり今年も大盛会となる。は応援団OBの指揮で応援歌、校歌を高らかに歌い、当番78回生の見送りをうけながら、それぞれのグループが夜の静岡の街へと繰り出していった。

静岡同窓会副会長 下村勝彦

☆ 第5回全日本女子相撲ひめじ大会

山中未久・3回目の優勝

6月9日(日)姫路市綱千公園相撲場に、全国の小学生から一般まで109名が参加、各部門、体重別に分かれ行われた。一般軽量級(65kg未満)に出場した山中未久(立命館職員・静岡OB)は、決勝リーグ戦で同点決勝となり、立命館大後輩の石田選手を寄り切りで破り、この大会2年連続、3回目の優勝を遂げた。本県からは他に5名出場し、小学生5年45kg未満で川口紗葵(焼津)が2位、6年50kg未満で平口幸芽(焼津)2位、一般超軽量級で松浦みな美(大井川西教諭)3位、軽重量級で松浦麻乃(永田医院)が3位に入賞、高校生の福里愛美(藤枝東)は2回戦で敗れる。 下村勝彦。

☆ ちから会への多額の寄付誠に有難うございます。なお、寄付者から金額、氏名を載せないで下さいとの申し出があり、紙面をかりてお礼申し上げます。 ちから会 会長 細倉涼太

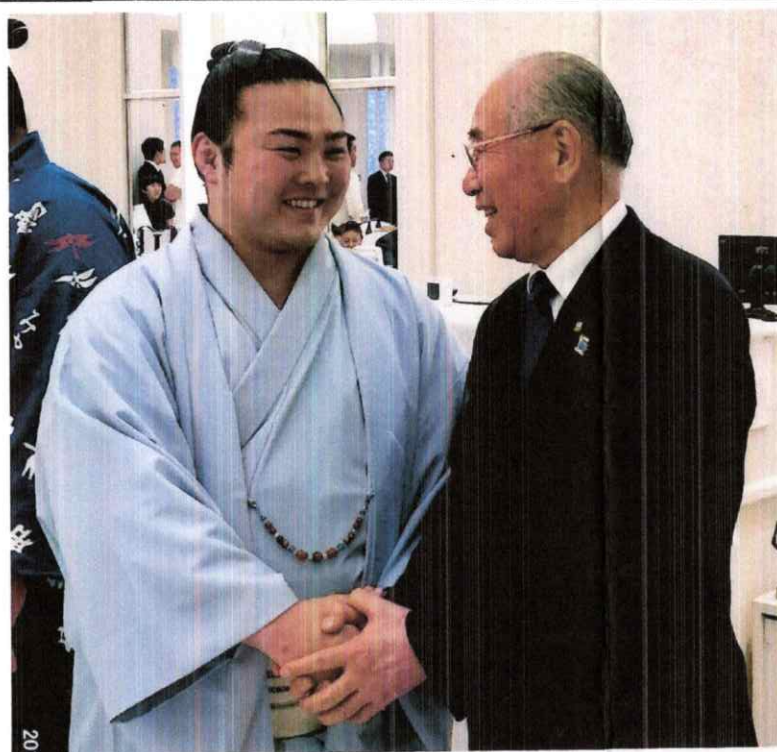
☆ トランプ大統領に大歓声 大相撲5月場所観戦

焼津市と友好関係にあるモンゴルの特命駐日大使ダバンバドルジャー氏の招待で、5月場所千秋楽を中野焼津市長と観戦した。今後、モンゴルとの相撲交流を計りたいと、中野市長が声をかけてくれたものである。国技館は内外から相撲を見に来たのか、トランプ大統領を見に来たのか、人と警官とSPで大混雑であった。我々はモンゴル杯の表彰を行う大使と、各国表彰者席である東側通路のマス席に3人で陣取った為、ちょうどトランプ大統領が通る真上となり、しっかりと姿を拝見し手を振ると自分に向かって手を振ってしっかりと答えてくれた。(下の写真)。

モンゴル大使が朝乃山にモンゴル杯を贈ったあとと宮城野部屋千秋楽打上げパーティーにも招待してくれ、白鵬、大使、市長と同じテーブルに着く。横綱には両親ともに参加していただいた。モンゴル世界大会へのお礼を申し上げ、千秋楽残念ながら負け越した炎鵬関(中村友哉君)とは、平成26年台湾高雄市での世界大会軽量級優勝以来の久しぶりの再会となり握手。尚、この大会では、大道久司(御嶽海)、中村大揮(北勝富士)、小柳亮太(豊山)の3人で団体優勝し、ジュニア無差別級で高校生の佐藤貴信(大関・貴景勝)が優勝し、現大相撲で活躍している錚々たるメンバーが参加していた。

静岡県関係では、ジュニア軽量級に植松(富士宮)と野崎(浜松)が出場し、一般も山中久と松浦が2位3位と活躍してくれた大会でした。宴たけなわではあったが大使の時間と我々の電車の時間もあり、8時に会場を後にする。ダンバドルジャー大使はたいへん気さくな人で、焼津へ是非行きたいと話してくれ、市長と共に歓迎を約束し別れる。

下村勝彦。



下村・中野焼津市長・モンゴル大使・白鵬

